

# 安城市における 地域包括ケアモデル事業の取組 (地区医師会モデル)

安城市高齢福祉課



H29.3.21 地域包括ケアモデル事業活動成果報告会

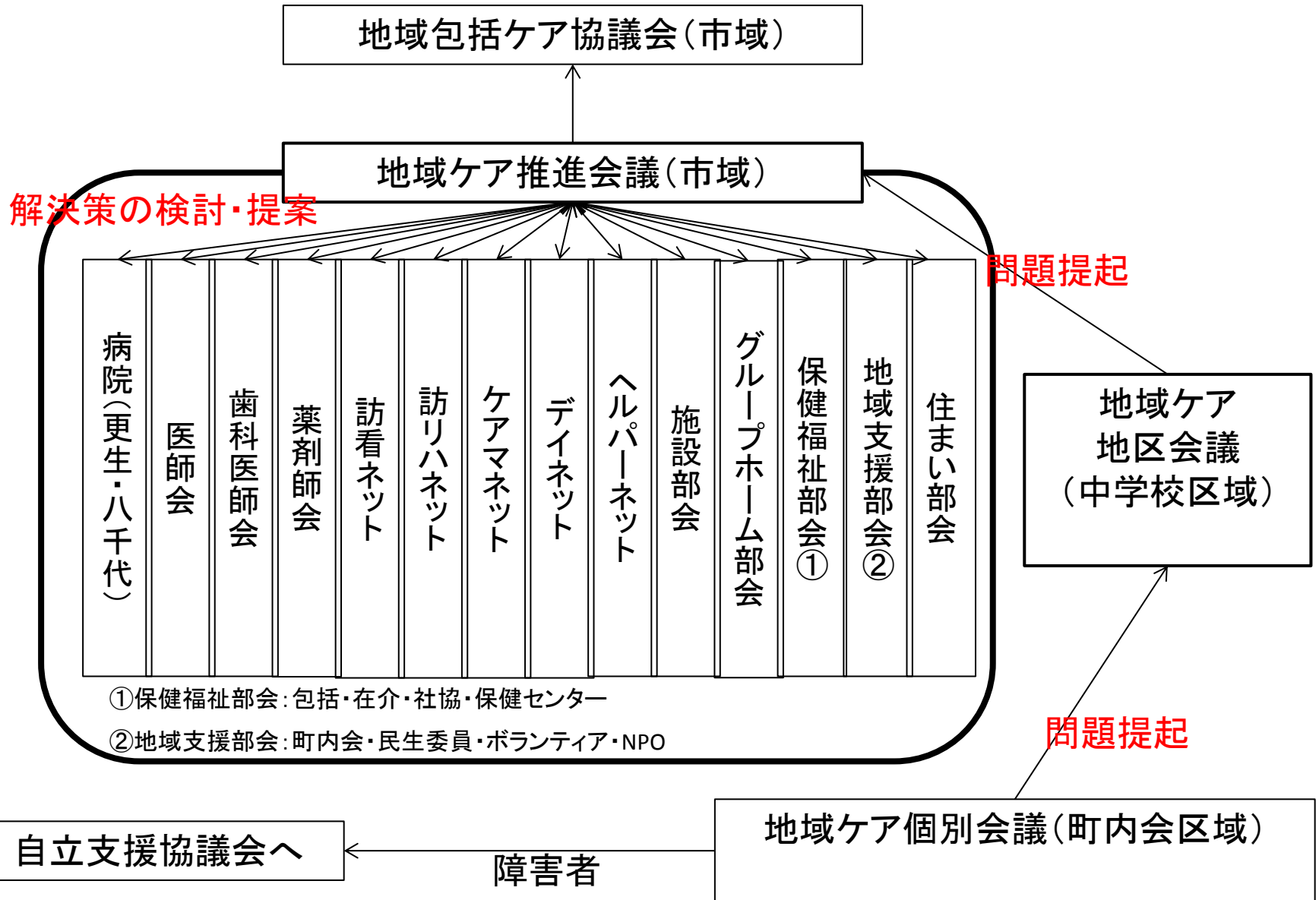
# 安城市の状況

	平成25年10月	平成28年10月	
人口	183,552人	186,806人	3,254人 増加
高齢者数	33,200人	37,290人	4,090人 増加
高齢化率	18.1%	20.0%	1.9ポイント 増加
要介護 認定率	14.5% (全国 18.3%)	14.6% (全国 18.4%)	0.1ポイント 増加





# 安城市の地域包括ケア体制 ②



# 医療と介護の連携

# 1 地域ケア推進会議の開催 (毎月開催)

病院部会	医師会部会	歯科医師会部会
薬剤師会部会	訪問看護部会	訪問リハビリ部会
ケアマネット部会	デイネット部会	ヘルパーネット部会
施設部会	グループホーム部会	保健福祉部会
地域支援部会	住まい部会	



# 2 医療と介護の情報共有

H26 在宅見守りノート作成と活用



H27 ICTを活用した情報連携についての検討、調整



H28 「サルビー見守りネット」の稼働



### 3 医師会、在宅医療サポートセンターとの連携

地域ケア推進会議への出席

市民フォーラムの開催(毎年2回)

医療資源マップの作成の調整

ICTを活用した情報連携についての検討、調整  
など



### 4 認知症初期集中支援チーム設置

平成28年度から八千代病院認知症疾患医療センターにて実施





## 5 多職種ワークショップ研修会(年2回)

専門職種間における連携・協働を促進するために、  
多職種が集まり一つの事例についてグループワークを行う



## 6 医療介護連携推進のための研修会

H26 先進市から学ぶ研修(医師会、市主導)



H27～各部会主催で研修会を開催(企画、運営など)  
学びたいこと、希望する講師など部会で決める  
年間12回程度開催している



# 介護予防・生活支援

# 1 生活支援コーディネーターの配置(第2層)

## ○生活支援ネットワーク会議

各団体の活動の紹介と顔つなぎ

地区内の資源の洗い出し、不足ニーズの抽出など



## ○地域福祉マッチング交流会 & サロン活動博覧会

地域住民、地域の福祉施設やボランティア、

市民活動団体等多様な人たちが手をつなぎ、

活動できるよう“出会い”のきっかけとなる場を提供



## ○あんじょうコミュニティBOOK作成

地域のサロンや教室等を地区別に

まとめたもの(H29.4配布)



## 2 サロンお助け講習会

愛知県理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会(三士会協定)のモデル事業を安城市で開催

地域のサロン等の担い手を対象に、サロン運営時に虚弱高齢者への介助の方法や運営上の工夫などを学ぶ

コグニサイズの普及

平成29年度からは、地域リハビリテーション活動事業として実施



### 3 高齢者地域生活支援等実施団体活動支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる地域づくりを目指して、高齢者の生活支援活動や通いの場の提供活動を行う団体に活動費を補助

運営費・施設整備費・初年度開設費を補助



### 4 町内会健康体操教室の拡充

約6割の町内会で実施

全町内会での実施を目指し、運営方法や内容の見直しを検討

住民の自主的な運営を目指し支援する



# 5 あんジョイ生活サポーター養成研修

平成28年9月から開始

新しい総合事業における介護予防・生活支援サービスの担い手を養成するための研修を開催。

シルバー人材センター対象

4回

市民対象  
修了者

8回

190人



安城市主催事業

## あんジョイ生活サポーター養成研修

あなたも高齢者の生活支援の

担い手となり、地域で活躍しませんか？



◆日時・場所・申込受付期間

コース	日にも(曜日)		申込受付期間	会場
	1回目	2回目		
第1回	10月29日(土)	10月30日(日)	10月18日(土)	総合福祉センター 会議室1,2
第2回	11月24日(木)	11月25日(金)	11月30日(木)	総合福祉センター 2階 会議室1,2
第3回	11月28日(土)	11月29日(日)	11月12日(土)	北部福祉センター 研修室
第4回	12月3日(土)	12月4日(日)	11月18日(土)	作野福祉センター 2階 研修室
第5回	12月8日(木)	12月9日(金)	11月24日(木)	佐津福祉センター 3階 多目的室4
第6回	12月10日(土)	12月11日(日)	11月26日(土)	安城福祉センター 2階 会議室
第7回	1月17日(土)	1月18日(日)	12月30日(金)	中部福祉センター 1階 会議室
第8回	1月26日(木)	1月27日(金)	1月12日(木)	西部福祉センター 2階 会議室

各コースの開催時間は9:30~16:00(受付開始は9:00から)です。

変更・キャンセルは申込受付期間までにご連絡ください。

研修は平日午前7時開始で、昼食、帰途乗車時間が考慮されている講座は中止。当日朝早くにご連絡ください。  
(詳細は、ウェブサイトにて掲載。) 2日間の研修です。終了後、安城市から修了証書発行します。

◆定員 各回20人 ※申し込み順で受け付けます。定員を超えた場合は、別荘にご案内します。

◆持ち物 筆記用具/昼食

◆参加費 無料

◆申し込み 申込書にてFAX・郵送または電話でお申し込みください。(詳細は募集要項)

研修では...

・「介護保険」「高齢者の特性」「接遇・マナー」  
「生活支援の方法」「高齢者に多い病気や認知症に関する知識」  
等について

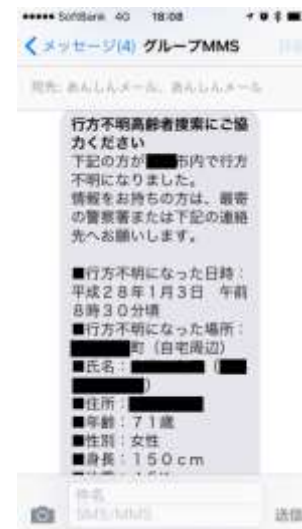
研修を通じて生活支援に必要な知識を学んでいただけます。



## 6 認知症高齢者等検索「見つかるつながるネットワーク」

地域ケア推進会議で検討  
事前登録制、登録シールの活用など

登録者：47名  
H28実績(市内在住者)  
メールやFAX配信 7件



## 7 認知症高齢者検索・声かけ模擬訓練

H27 1回開催  
H28 8回(各中学校区)



## 8 高齢者見守り事業者ネットワーク

**民間事業者・社会福祉協議会・市の3者協定**

民間事業者が通常業務中に異変を発見した場合に市へ連絡をもらい、市と社会福祉協議会が連携し高齢者の安否確認を行う。

住民主体の見守り活動に加え、普段から高齢者に関わることの多い民間事業者と協定を結び、高齢者への迅速な支援や安否確認へとつなげる。

**新聞販売店、コンビニ、金融機関、生協など  
17団体と協定締結**





住まい

## 1 市営住宅建替えにむけて建築部門と協議(H27)

## 2 住まい部会の開催(H26・H27)

建築課市営住宅係、障害福祉課障害福祉係、社会福祉課自立支援係、社会福祉協議会とで方向性に関して協議。

H28は開催なし。

高齢者が新たに賃貸住宅を探そうとすると難しい、貸し手側が難色を示すことがある、保証人がいない、家賃が高いなど問題があることは分かっている。

現状把握や課題の明確化、関係者間の情報共有が必要と考えるが、具体的な取組ができていない。



# 主な成果

- ◆ 鍵の預かり事業の開始
- ◆ 認知症ケアパスを多職種で作成
- ◆ 徘徊高齢者検索「見つかるつながるネットワーク」の構築と運用
- ◆ ICTを活用した「サルビー見守りネット」の運用開始
- ◆ 訪問歯科診療依頼時のフローチャートと受付表の作成
- ◆ すべての地域ケア地区会議に介護関係者だけでなく、医師、歯科医師、薬剤師が参加
- ◆ 顔の見える関係づくりができた  
⇒ 仕事を抜いたお付き合いも(プライベートでのつながり)

# 安城市民デンパーク駅伝大会 H29.2.12

医師、ケアマネ、看護師、社会福祉士、介護福祉士、理学療法士など職種や組織を越えた6人1チームを5チーム結成し参加。しかもおそろいのTシャツも着用！！



次回は応援チームも結成？

# 主な課題

<b>生活支援 介護予防</b>	住民活動の充実	住民主体の活動の立ち上げが難しい。 要支援等の認定があるとわかると受入に難色を示す。
	介護予防のさらなる推進	疾病予防、重症化予防のための取組。 社会参加、生きがいづくり、就労などへの支援
	市民の健康意識の向上	40代50代への働きかけの方法が皆無。 自立支援とはなにか。
<b>住まい</b>	福祉系と住宅系が同じ方向を向いていない。 （課題の明確化や共有化ができていない）	高齢者、低所得者の住まいの確保が困難。 貸主は高齢者を避ける。（事故物件、家賃滞納、保証人など） サ高住・有料老人ホームは費用が高い。 住み替えへの抵抗感

<b>医療 介護</b>	専門職の顔の見える 関係づくりがまだまだ 不十分	研修等参加者が固定 ICTの活用の推進 在宅医療、看取りに関する市民 への啓発
	「最期」「看取り」に関 する意識の変容	死の話題はタブー、身近で死の 経験がないなど 家族間でも話し合いが難しい。
	認知症対策	地域の見守り、認知症の理解等
<b>全体</b>	地域ケア会議の運営	地域ケア個別会議、地域ケア地区 会議の運営、地域ケア推進会議へ の提案など
	地域包括ケアのビ ジョンの明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合事業の開始</li> <li>・介護保険計画、高齢者福祉計 画、地域福祉計画等</li> <li>・子どもや障害者を含めた地域 包括ケア</li> </ul>



# 地域ケア会議を連動させる

平成27年度の例

- 地域包括支援センター主催の地域ケア個別会議において認知症の対応に関連するものが多く取り上げられる。住民からの困ったと言う声が多い。

- 地域の困りごとの中で認知症の人の相談が多い。徘徊し行方不明になる人がいる。地域の中でできることはないか、工夫していることなど話し合う。
  - ⇒ 認知症の人にどう声をかけたらいいのか分からない。
  - ⇒ 搜索声かけ訓練実施(住民が中心)

- 認知症高齢者が行方不明になったときの搜索ネットワークについて検討(専門職が中心)



個別会議

地区会議

推進会議

医師会・歯科医師会・薬剤師会から

## 《医師会》

地域ケア推進会議を毎月開催してきたが、会議終了後にも各職種間でupdateな情報交換が行われており、今後も集いの場としてのペースで継続していただきたい。またICT導入により情報共有のオプションが増え今後の発展が期待できると思う。

## 《歯科医師会》

平成26年度より安城市歯科医師会は毎月、委員会にて議論を重ね医療・介護の連携、講習会の内容を協議し歯科医師会内に在宅歯科協力医のチームを編成した。又、安城市医師会の協力のもと在宅医療サポートセンターに歯科の相談窓口の開設し医療・介護連携のためのフローチャートを作成した。今後もさまざまな面で連携を深めたい。

## 《薬剤師会》

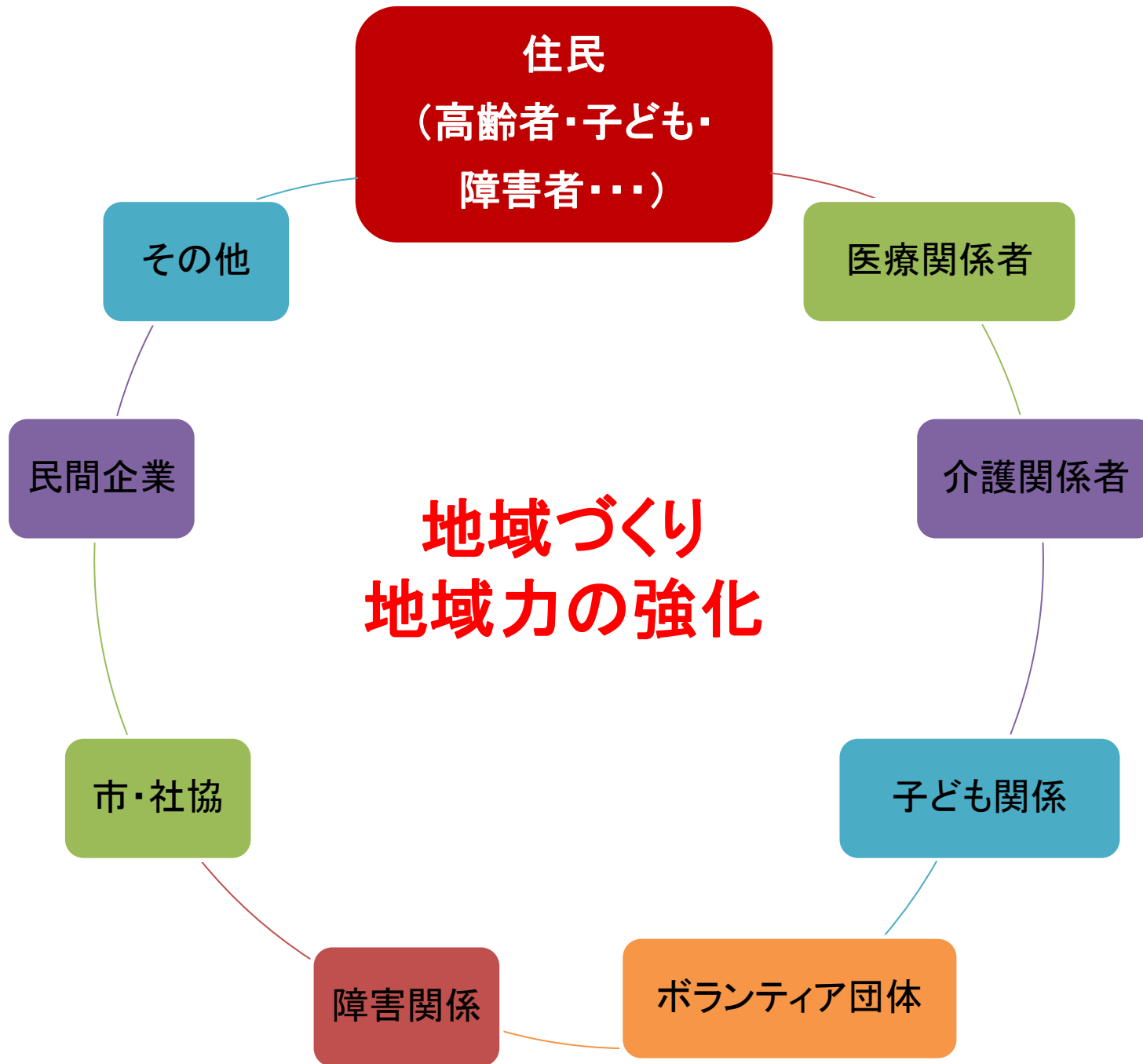
包括ケアを遂行するためには他職種との有機的連携が不可欠ですが、モデル事業の中で機会を設けていただき端緒が見えてきた。大変刺激的な取り組みと評価する。

# 今後に向けて

- 住まいに関する現状の把握と課題の抽出
- 地域ケア会議の充実
- 住民への周知⇒他人事ではなく**我が事**
- 高齢者だけでなく、子どもや障害者も含めた地域包括ケアシステムの構築⇒縦割りではなく**丸ごと**



地域共生社会



# 提言

地域包括ケアの5本柱をかけることなく地域包括ケアを推進することが重要。医療福祉系だけではできない。

住民を中心に考え、住民にとって何が必要か、住民自身も一緒に取り組み体制をつくる。

市職員や医療・介護の関係者も住民である。私たち自身も当事者であることを忘れない。

# 安城市の地域包括ケアシステムは 地域住民が主役です。

地域住民主体の見守り活動を専門職、社会福祉協議会、市などの関係者が連携してサポートする体制を目指します。



## 問い合わせ先

安城市役所高齢福祉課地域支援係

担当者 天野洋子

Mail [koufuku@city.anjo.lg.jp](mailto:koufuku@city.anjo.lg.jp)

Tel 0566-71-2223 Fax 0566-74-6789

〒446-8501 安城市桜町18番23号

# ご清聴ありがとうございました



【アフォレ】平成29年6月1日オープン

図書館を中心とした公共施設棟、イベント広場や公園、商業施設がある複合施設